

新人紹介

はじめまして。本年度7月からワイルドライフマネジメント事業部関東支社に配属となりました、濱屋泰子（はまややすこ）と申します。よろしくお願いいたします。

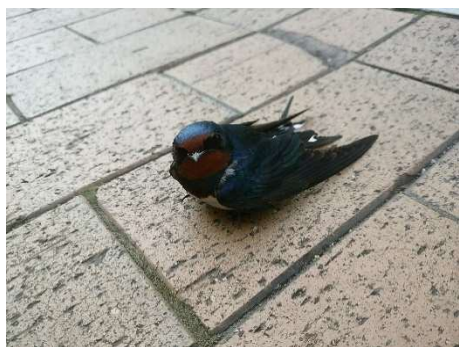
出身は福島県福島市で、母方の実家が農業を営んでおり、幼少期から自然に触れる機会が多かったように思います（手伝いで呼ばれていながらオタマジャクシやイナゴ集めで遊んでばかりでした）。また、父方の実家である北海道根室市へも小学校卒業頃まで毎年帰省に付いていき、親戚回り時に牧場で保護されていたエゾシカと戯れたり、海鳥を観察したりしていました。

そんなこんなで動物や自然が好きになり、実家ではペットを飼うことを禁止されていた反動もあって、「将来は絶対に動物と関われる仕事をする！願わくば野生動物で！」といった経緯から、安直ですが当時“野生動物”のワード検索で引っかかった日本獣医生命科学大学へ進学しました。入学当初は保護の道へ進もうとしていたのですが、卒論テーマでアラグマを取り扱ったことで、管理の業界も考えるようになりました。野生動物を相手にする業界は一般的に見て特殊で、ものによっては生き物を憐れむ人たちのボランティアによって支えられている界限がまだまだ多いと感じています。それを知ったうえでも我が強い性格のため好きなことを仕事にしていた

気持ちはず変わらず、現在まで生計を立てられる場に何とか食らいついています。

一人っ子で体力仕事に向いているように見えないう体格でもあるので、家族や親戚からはあんまり危険な仕事はしないで地元に戻ってこないかという声も序盤はよくありました。それでも上京して一人暮らしを始めてから10年以上が経ち、周りもこの性格はもう無理だ…と呼び戻すのを大分諦めてくれました（笑）。今では母は獣害問題のニュースが出るたびに連絡をくれたり、父は定年後に山登りの趣味を始めたりして話を集めてきてくれます。特に父には、私が猟銃を所持したいと話したところから猛反発され説得にかなり時間を要しましたが、良き理解者となってくれ、高齢で動けなくなりつつある母方の親戚に代わって畑の手入れを頑張ってくれていて、一番私の関わる仕事に向き合ってくれている人だと感じています。

この先もこれだけ長く寄り添ってくれた家族の期待を裏切らないように、豊かな自然をより多く末永く守り伝えられるよう努めていきたいと思っています。とは言え、まだまだ浅く偏った知識しか持ち合わせておりませんので、WMOの名に恥じぬようより一層勉強にも励みたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。



通学中自転車で轢きそうになった巣立ち雛

（※この後高いフェンスへ）

新卒時はこのような雛や傷病鳥獣の救護を行っていた動物病院に勤めていました。



祖母の家のタケノコ

耕作放棄地にさせまいと定年後一層力を入れた父に帰省時に連れられてきました。